



2025年3月期 第1四半期決算短信〔IFRS〕（連結）

2024年7月31日
上場取引所 東

上場会社名 第一三共株式会社
コード番号 4568 URL <https://www.daiichisankyo.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 奥澤 宏幸
問合せ先責任者 (役職名) コーポレートコミュニケーション部長 (氏名) 朝倉 健太郎 TEL 03-6225-1125
配当支払開始予定日 -
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無：有（機関投資家、証券アナリスト、報道関係者向け）

(百万円未満切捨て)

1. 2025年3月期第1四半期の連結業績（2024年4月1日～2024年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上収益		コア営業利益		営業利益		税引前利益		四半期利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第1四半期	436,175	24.3	72,882	63.9	92,979	111.2	110,198	111.4	85,383	49.8
2024年3月期第1四半期	350,835	25.2	44,463	29.4	44,032	28.1	52,133	77.2	57,013	202.4

	親会社の所有者に帰属する四半期利益		四半期包括利益合計額		基本的1株当たり四半期利益	希薄化後1株当たり四半期利益
	百万円	%	百万円	%	円 銭	円 銭
2025年3月期第1四半期	85,383	49.8	135,469	19.7	44.60	44.57
2024年3月期第1四半期	57,013	202.4	113,144	50.6	29.74	29.72

(注) 当社グループは、経常的な収益性を示す指標として営業利益から一過性の損益を除外したコア営業利益を開示しております。コア営業利益の定義につきましては、2ページ「1. 経営成績等の概況（1）当四半期の経営成績の概況」をご覧ください。

(2) 連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に帰属する持分	親会社所有者帰属持分比率	1株当たり親会社所有者帰属持分
	百万円	百万円	百万円	%	円 銭
2025年3月期第1四半期	3,437,132	1,720,849	1,720,849	50.1	901.38
2024年3月期	3,461,135	1,688,603	1,688,173	48.8	880.40

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	-	20.00	-	30.00	50.00
2025年3月期	-	-	-	-	-
2025年3月期（予想）	-	30.00	-	30.00	60.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2025年3月期の連結業績予想（2024年4月1日～2025年3月31日）

（％表示は、通期は対前期増減率）

	売上収益		コア営業利益		営業利益		税引前利益		当期利益		親会社の所有者に 帰属する当期利益		基本的1株当たり 当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,750,000	9.3	210,000	7.5	230,000	8.7	235,000	△0.9	190,000	△5.5	190,000	△5.3	99.09

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

（1）当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：有

新規 一社（社名） 、除外 一社（社名）第一三共エスファ株式会社

（注）詳細は、16ページ「2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記（5）要約四半期連結財務諸表に関する注記事項（当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更）」をご覧ください。

（2）会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無

（3）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2025年3月期1Q	1,947,034,029株	2024年3月期	1,947,034,029株
------------	----------------	----------	----------------

② 期末自己株式数

2025年3月期1Q	37,896,419株	2024年3月期	29,531,339株
------------	-------------	----------	-------------

③ 期中平均株式数（四半期累計）

2025年3月期1Q	1,914,362,840株	2024年3月期1Q	1,917,345,695株
------------	----------------	------------	----------------

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。

なお、業績予想に関する事項は、8ページ「1. 経営成績等の概況（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
① 業績全般の概況	2
【連結業績（コアベース）】	2
【ユニット別売上収益状況】	4
② 研究開発の状況	6
(2) 当四半期の財政状態の概況	8
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	8
(4) 株主還元に関する説明	8
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記	9
(1) 要約四半期連結財政状態計算書	9
(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書	11
要約四半期連結損益計算書	11
要約四半期連結包括利益計算書	12
(3) 要約四半期連結持分変動計算書	13
(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書	15
(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項	16
(継続企業の前提に関する注記)	16
(当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更)	16
(表示方法の変更)	16
(セグメント情報)	16

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

① 業績全般の概況

【連結業績（コアベース）】

(単位：百万円。百万円未満切捨て)

	2024年3月期 第1四半期	2025年3月期 第1四半期	対前年同期増減
売上収益	350,835	436,175	85,339 24.3%
売上原価 [※]	93,609	94,985	1,375 1.5%
販売費及び一般管理費 [※]	135,609	167,618	32,008 23.6%
研究開発費 [※]	77,152	100,689	23,536 30.5%
コア営業利益 [※]	44,463	72,882	28,418 63.9%
一過性の収益 [※]	514	20,096	19,582 -
一過性の費用 [※]	945	0	△944 △100.0%
営業利益	44,032	92,979	48,946 111.2%
税引前四半期利益	52,133	110,198	58,064 111.4%
親会社の所有者に帰属する 四半期利益	57,013	85,383	28,370 49.8%
四半期包括利益合計額	113,144	135,469	22,325 19.7%

※ 当社グループは、経常的な収益性を示す指標として、営業利益から一過性の収益・費用を除外したコア営業利益を開示しています。一過性の収益・費用には、固定資産売却損益、事業再編に伴う損益（開発品や上市製品の売却損益を除く）、有形固定資産・無形資産・のれんに係る減損損失、損害賠償や和解等に伴う損益の他、非経常的かつ多額の損益が含まれます。

本表では、売上原価、販売費及び一般管理費、研究開発費について、一過性の収益・費用を除く実績を示しています。営業利益からコア営業利益への調整表は、決算補足資料に記載しています。

<主要通貨の日本円への換算レート（期中平均レート）>

	2024年3月期 第1四半期	2025年3月期 第1四半期
1米ドル/円	137.37	155.89
1ユーロ/円	149.46	167.88

a. 売上収益

- ・当四半期（2024年4月1日～6月30日）の売上収益は、前年同期比853億円（24.3%）増収の4,362億円となりました。
- ・グローバル主力品エンハーツ（一般名：トラスツズマブ デルクステカン：T-DXd/DS-8201）、リクシアナ（一般名：エドキサバン）等の伸長及び円安の進行による為替の増収影響等により、増収となりました。
- ・売上収益に係る為替の増収影響は304億円でした。

b. コア営業利益

- ・コア営業利益は、前年同期比284億円（63.9%）増益の729億円となりました。
- ・売上原価は、売上収益が増加したものの、製品構成の変化に伴う原価率改善等により、14億円（1.5%）増加の950億円に留まりました。
- ・販売費及び一般管理費は、エンハーツに係るアストラゼネカとのプロフィット・シェアの増加による費用増等により、320億円（23.6%）増加の1,676億円となりました。
- ・研究開発費は、5DXd ADCs（トラスツズマブ デルクステカン、ダトポタマブ デルクステカン：Dato-DXd/DS-1062、パトリツマブ デルクステカン：HER3-DXd/U3-1402、イフィナタマブ デルクステカン：I-DXd/DS-7300、DS-6000）への研究開発投資の増加等により、前年同期比235億円（30.5%）増加の1,007億円となりました。
- ・コア営業利益に係る為替の減益影響は20億円でした。

c. 営業利益

- ・営業利益は、前年同期比489億円（111.2%）増益の930億円となりました。
- ・第一三共エスファ株式会社の株式譲渡益の計上等により、一過性の収益が増加したため、コア営業利益に比べて増益額が拡大しました。

d. 税引前四半期利益

- ・税引前四半期利益は、前年同期比581億円（111.4%）増益の1,102億円となりました。
- ・為替差損益の改善等により、金融収支が91億円改善したため、営業利益に比べて増益額が拡大しました。

e. 親会社の所有者に帰属する四半期利益

- ・親会社の所有者に帰属する四半期利益は、前年同期比284億円（49.8%）増益の854億円となりました。
- ・第一三共エスファ株式会社の譲渡決定に伴う税効果会計の影響等により、前年同期の法人税等が減少していた一方、当四半期はその影響がなく、法人税等が増加したため、税引前四半期利益に比べて増益額が減少しました。

f. 四半期包括利益合計額

- ・四半期包括利益合計額は、前年同期比223億円（19.7%）増益の1,355億円となりました。

【ユニット別売上収益状況】

当四半期におけるユニット別売上収益は、次のとおりです。なお、製品別の売上収益については、決算補足資料に記載しています。

a. ジャパンビジネスユニット

ジャパンビジネスユニットの売上収益には、イノベーティブ医薬品事業及びワクチン事業の製品の売上収益が含まれております。

当ユニットの売上収益は、**リクシアナ**、**エンハーツ**、**タリージェ**等が伸長したものの、第一三共エスファ株式会社の連結除外に伴い、2024年4月以降、ジェネリック事業の製品の売上収益が含まれなくなったことから、前年同期比13億円（1.1%）減収の1,177億円となりました。

当四半期における主な進捗は次のとおりです。

- ・2024年6月、抗悪性腫瘍剤エザルミアの再発又は難治性の末梢性T細胞リンパ腫（PTCL）の承認取得及びプロモーション開始

b. 第一三共ヘルスケアユニット

第一三共ヘルスケアユニットの売上収益は、**マイティア**、**ロキソニン**、**ルル**等の伸長により、前年同期比29億円（17.0%）増収の200億円となりました。

c. オンコロジービジネスユニット

オンコロジービジネスユニットの売上収益には、第一三共Inc.（米国）及び第一三共ヨーロッパのがん製品売上収益が含まれております。

当ユニットの売上収益は、欧米における**エンハーツ**の伸長により、前年同期比358億円（50.7%）増収の1,064億円、現地通貨ベースでは、169百万米ドル（32.8%）増収の683百万米ドルとなりました。

当四半期における主な進捗は次のとおりです。

- ・2024年4月、エンハーツのHER2陽性の複数の固形がんを対象とした米国における承認取得及びプロモーション開始

d. アメリカンリージェントユニット

アメリカンリージェントユニットの売上収益は、**インジェクタファー**の増収や為替の増収影響により、前年同期比53億円（10.4%）増収の559億円、現地通貨ベースでは、10百万米ドル（2.7%）減収の359百万米ドルとなりました。

e. EUスペシャルティビジネスユニット

EUスペシャルティビジネスユニットの売上収益には、がん製品を除く第一三共ヨーロッパの製品売上収益が含まれております。

当ユニットの売上収益は、**リクシアナ**、**Nilemdo/Nustendi**の伸長により、前年同期比177億円（42.7%）増収の592億円、現地通貨ベースでは75百万ユーロ（27.0%）増収の353百万ユーロとなりました。

当四半期における主な進捗は次のとおりです。

- ・2024年5月、Nilemdo/Nustendiの心血管疾患の抑制の承認取得及びプロモーション開始

f. ASCAビジネスユニット

ASCA^{※1}ビジネスユニットの売上収益には、海外ライセンシーへの売上収益等が含まれております。

当ユニットの売上収益は、ブラジルにおけるエンハーツの伸長等により、前年同期比92億円（23.4%）増収の487億円となりました。

※1 Asia, South & Central Americaの略

② 研究開発の状況

当社グループは、5つのDXd ADC^{※1}の製品価値最大化を目指してリソースを集中投入するとともに、持続的成長の実現に向けてSOC^{※2}を変革する製品群（Next Wave）の創薬を目指す「5DXd ADCs and Next Wave」戦略のもと、グローバル臨床開発の加速化にも注力して研究開発に取り組んでおります。

中長期的には、がんに加え、当社のサイエンス&テクノロジーの優位性を活かして様々な疾患に対する治療薬創製を目指し、新規モダリティ^{※3}の技術研究等を通じた創薬力の強化に取り組んでおります。

※1 ADCはAntibody Drug Conjugateの略、抗体薬物複合体。抗体医薬と薬物（低分子医薬）を適切なリンカーを介して結合させた医薬品で、がん細胞に発現している標的因子に結合する抗体医薬を介して薬物をがん細胞へ直接届けることで、薬物の全身曝露を抑えつつ、がん細胞への攻撃力を高めた薬剤。DXd ADCは当社独自の薬物とリンカーを抗体に結合させたもの

※2 Standard of Careの略。現在の医学では最善とされ、広く用いられている治療法

※3 モダリティとは低分子薬、抗体医薬、ADC、核酸医薬、遺伝子治療等の治療手段のこと

【5DXd ADCs】

当四半期における5DXd ADCsの臨床開発の状況は次のとおりです。なお、各臨床試験の状況については、決算補足資料に掲載しています。

トラスツズマブ デルクステカン及びダトポタマブ デルクステカンは、アストラゼネカと共同開発しております。また、パトリツマブ デルクステカン、イフィナタマブ デルクステカン、DS-6000については、2023年10月に戦略的提携契約を締結したMerck & Co., Inc., Rahway, NJ, USA（以下「米国メルク」）と共同開発しております。

a. トラスツズマブ デルクステカン（T-DXd/DS-8201：抗HER2 ADC、製品名：エンハーツ）

当四半期における主な進捗は次のとおりです。

- ・2024年4月、HER2陽性（IHC3+）固形がん2次治療以降を対象とした米国における承認の取得
- ・2024年4月、ホルモン受容体陽性かつHER2低発現の化学療法未治療の乳がんを対象としたフェーズ3試験（試験名：DESTINY-Breast06）の結果概要の発表
- ・2024年6月、米国臨床腫瘍学会（ASCO）におけるDESTINY-Breast06試験の主要解析データの発表
- ・2024年6月、ASCOにおけるHER2陽性乳がんを対象とした単剤療法及び併用療法を評価するフェーズ1b/2試験（試験名：DESTINY-Breast07）のうち、1次治療における単剤療法及びペルツズマブとの併用コホートの最新データの発表

b. ダトポタマブ デルクステカン（Dato-DXd/DS-1062：抗TROP2 ADC）

当四半期における主な進捗は次のとおりです。

- ・2024年4月、ホルモン受容体陽性かつHER2低発現又は陰性の乳がんの2次治療以降を対象とした米国における承認申請の受理
- ・2024年5月、非小細胞肺がんの2次治療以降を対象としたフェーズ3試験（試験名：TROPION-Lung01）における全生存期間（OS）に関する主要解析結果の概要の発表
- ・2024年5月、非扁平上皮非小細胞肺がんの1次治療を対象としたRilvegostomig（AZD2936）との併用療法のフェーズ3試験（試験名：TROPION-Lung10）の開始
- ・2024年5月、EGFR変異を有する非小細胞肺がんの1次治療を対象としたオシメルチニブとの併用療法のフェーズ3試験（試験名：TROPION-Lung14）の開始
- ・2024年6月、ASCOにおける非小細胞肺がんを対象とした免疫チェックポイント阻害剤との併用療法のフェーズ1b試験（試験名：TROPION-Lung02）のうち、1次治療を対象としたサブグループ解析の最新データの発表

c. パトリツマブ デルクステカン (HER3-DXd/U3-1402 : 抗HER3 ADC)

当四半期における主な進捗は次のとおりです。

- ・2024年6月、EGFR変異を有する非小細胞肺癌の3次治療を対象としたフェーズ2試験（試験名：HERTHENA-Lung01）に基づく米国における承認申請について、米国食品医薬品局（FDA）からの審査完了報告通知の受領

d. イフィナタマブ デルクステカン (I-DXd/DS-7300 : 抗B7-H3 ADC)

当四半期における主な進捗は次のとおりです。

- ・2024年5月、固形がんの2次治療以降を対象としたフェーズ2試験（試験名：IDeate-Pantumor02）の開始

e. DS-6000 (抗CDH6 ADC)

当四半期における主な進捗は次のとおりです。

- ・2024年4月、プラチナ抵抗性卵巣がんを対象としたフェーズ2/3試験（試験名：REJOICE-Ovarian01）の開始

【Next Wave】

当四半期におけるNext Waveの主な進捗は次のとおりです。なお、各臨床試験の状況については、決算補足資料に掲載しています。

- ・2024年4月、DS-5670 (COVID-19 mRNAワクチン、日本製品名：ダイチロナ) の5歳から11歳を対象とした日本における承認申請の受理
- ・2024年6月、DS-5670の12歳以上を対象とした2024年度の厚生労働省選定株対応ワクチンとして日本における一部変更承認申請の受理
- ・2024年6月、開発中の2つのmRNAワクチン（パンデミック時のインフルエンザmRNAワクチン、季節性インフルエンザと新型コロナウイルスの混合mRNAワクチン）について、厚生労働省の「ワクチン大規模臨床試験等事業」への採択
- ・2024年6月、バレメトスタット (DS-3201 : EZH1/2阻害剤、日本製品名：エザルミア) の末梢性T細胞リンパ腫 (PTCL) を対象とした日本における承認の取得
- ・2024年6月、ミロガバリン (DS-5565 : $\alpha 2 \delta$ リガンド、日本製品名：タリージェ) の糖尿病性末梢神経障害性疼痛を対象とした中国における承認の取得

(2) 当四半期の財政状態の概況

- 当四半期末における資産合計は3兆4,371億円となりました。現金及び現金同等物、営業債権及びその他の債権、並びにその他の非流動資産が増加した一方で、その他の金融資産（流動）の減少等により、前期末より240億円の減少となりました。
- 負債合計は1兆7,163億円となりました。その他の非流動負債が増加した一方で、営業債務及びその他の債務、並びに未払法人所得税の減少等により、前期末より562億円の減少となりました。
- 資本合計は1兆7,208億円となりました。配当金の支払及び自己株式の取得（838万株、457億円：取得総額5,500万株又は取得総額2,000億円を上限）による減少があった一方で、四半期利益の計上及びその他の資本の構成要素の増加等により、前期末より322億円の増加となりました。
- 親会社所有者帰属持分比率は50.1%となり、前期末より1.3%増加しております。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

- 2024年4月25日に公表した2025年3月期連結業績予想から変更はありません。

(4) 株主還元に関する説明

- 当社は、持続的な企業価値の向上を図るため、成長戦略の展開に不可欠な投資の実行と株主の皆様への利益還元を総合的に勘案し、利益配分を決定することを経営の基本方針としております。
- 2023年度につきましては、期末配当として、1株当たり30円の配当金を2024年6月18日にお支払いしました。年間配当金は、2023年12月8日にお支払いした中間配当20円と合計で1株当たり50円でした。
- 2024年度については、エンハーツの更なる売上拡大等により、2025年度主要計数目標の達成確度が高まっていることから、1株当たり年間配当は2023年度に比べ10円増配の60円を予定しています。なお、中間配当及び期末配当としてそれぞれ1株当たり30円を予定しています。また、株主還元の充実とともに資本効率の向上を図るため、2024年4月26日から2025年1月15日にかけて、取得総額2,000億円または取得株数5,500万株を上限として自己株式を取得し、当該取得自己株式の全株式数を消却（消却予定日：2025年1月31日）することを2024年4月25日開催の取締役会において決定しました。本取締役会での決定に基づき、2024年6月30日までに、約838万株の自己株式を約457億円で取得しました。

2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年6月30日)
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	647,180	805,259
営業債権及びその他の債権	454,188	544,463
その他の金融資産	577,040	204,096
棚卸資産	438,111	444,698
その他の流動資産	32,999	51,077
小計	2,149,521	2,049,595
売却目的で保有する資産	24,503	12,250
流動資産合計	2,174,024	2,061,845
非流動資産		
有形固定資産	421,692	448,346
のれん	108,498	114,043
無形資産	168,300	174,884
持分法で会計処理されている投資	608	634
その他の金融資産	147,906	159,374
繰延税金資産	249,354	242,220
その他の非流動資産	190,749	235,785
非流動資産合計	1,287,111	1,375,287
資産合計	3,461,135	3,437,132

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年6月30日)
負債及び資本		
負債		
流動負債		
営業債務及びその他の債務	557,131	531,155
社債及び借入金	399	399
その他の金融負債	12,775	13,800
未払法人所得税	46,391	21,274
引当金	15,435	11,426
契約負債	57,435	56,970
その他の流動負債	22,345	27,637
小計	711,914	662,664
売却目的で保有する資産に直接関連する負債	11,484	—
流動負債合計	723,399	662,664
非流動負債		
社債及び借入金	101,314	101,218
その他の金融負債	46,229	49,577
退職給付に係る負債	1,291	1,456
引当金	13,978	14,124
契約負債	680,166	666,109
繰延税金負債	12,858	13,255
その他の非流動負債	193,294	207,875
非流動負債合計	1,049,133	1,053,619
負債合計	1,772,532	1,716,283
資本		
親会社の所有者に帰属する持分		
資本金	50,000	50,000
資本剰余金	1,962	2,721
自己株式	△36,629	△82,326
その他の資本の構成要素	283,998	333,576
利益剰余金	1,388,842	1,416,877
親会社の所有者に帰属する持分合計	1,688,173	1,720,849
非支配持分	429	—
資本合計	1,688,603	1,720,849
負債及び資本合計	3,461,135	3,437,132

(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書

要約四半期連結損益計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
売上収益	350,835	436,175
売上原価	93,675	95,049
売上総利益	257,159	341,125
販売費及び一般管理費	136,580	175,115
研究開発費	77,152	100,714
その他の収益	606	27,683
その他の費用	0	0
営業利益	44,032	92,979
金融収益	8,821	19,133
金融費用	727	1,974
持分法による投資損益	6	60
税引前四半期利益	52,133	110,198
法人所得税費用	△4,879	24,815
四半期利益	57,013	85,383
四半期利益の帰属 親会社の所有者	57,013	85,383
1株当たり四半期利益		
基本的1株当たり四半期利益(円)	29.74	44.60
希薄化後1株当たり四半期利益(円)	29.72	44.57

要約四半期連結包括利益計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
四半期利益	57,013	85,383
その他の包括利益		
純損益に振り替えられることのない項目		
その他の包括利益を通じて公正価値で 測定する金融資産	7,917	4,457
確定給付制度に係る再測定額	11	△0
その後純損益に振り替えられる 可能性のある項目		
在外営業活動体の換算差額	48,180	44,890
キャッシュ・フロー・ヘッジ	21	738
税引後その他の包括利益	56,131	50,086
四半期包括利益	113,144	135,469
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	113,144	135,469

(3) 要約四半期連結持分変動計算書

前第1四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)

(単位:百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分					
	資本金	自己株式	その他の資本の構成要素			
			新株予約権	在外営業活動体の換算差額	キャッシュ・フロー・ヘッジ	その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産
2023年4月1日 残高	50,000	△36,808	608	168,415	403	31,446
四半期利益	—	—	—	—	—	—
その他の包括利益	—	—	—	48,180	21	7,917
四半期包括利益	—	—	—	48,180	21	7,917
自己株式の取得	—	△5	—	—	—	—
自己株式の処分	—	13	△6	—	—	—
配当金	—	—	—	—	—	—
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替	—	—	—	—	—	△209
非金融資産等への振替	—	—	—	—	△424	—
その他の増減	—	—	—	—	—	—
所有者との取引額等合計	—	7	△6	—	△424	△209
2023年6月30日 残高	50,000	△36,800	602	216,596	—	39,154

(単位:百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分				
	その他の資本の構成要素			親会社の所有者に帰属する持分合計	資本合計
	確定給付制度に係る再測定	その他の資本の構成要素合計	利益剰余金		
2023年4月1日 残高	—	200,874	1,231,788	1,445,854	1,445,854
四半期利益	—	—	57,013	57,013	57,013
その他の包括利益	11	56,131	—	56,131	56,131
四半期包括利益	11	56,131	57,013	113,144	113,144
自己株式の取得	—	—	—	△5	△5
自己株式の処分	—	△6	△6	0	0
配当金	—	—	△28,760	△28,760	△28,760
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替	△11	△220	220	—	—
非金融資産等への振替	—	△424	—	△424	△424
その他の増減	—	—	60	60	60
所有者との取引額等合計	△11	△652	△28,485	△29,130	△29,130
2023年6月30日 残高	—	256,353	1,260,315	1,529,868	1,529,868

当第1四半期連結累計期間（自 2024年4月1日 至 2024年6月30日）

(単位：百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分						
	資本金	資本剰余金	自己株式	その他の資本の構成要素			
				新株予約権	在外営業活動体の換算差額	キャッシュ・フロー・ヘッジ	その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産
2024年4月1日 残高	50,000	1,962	△36,629	560	243,928	△232	39,742
四半期利益	—	—	—	—	—	—	—
その他の包括利益	—	—	—	—	44,890	738	4,457
四半期包括利益	—	—	—	—	44,890	738	4,457
自己株式の取得	—	—	△45,712	—	—	—	—
自己株式の処分	—	△11	15	△3	—	—	—
配当金	—	—	—	—	—	—	—
株式報酬取引	—	770	—	—	—	—	—
子会社の支配喪失に伴う変動	—	—	—	—	—	—	—
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替	—	—	—	—	—	—	1
非金融資産等への振替	—	—	—	—	—	△505	—
その他の増減	—	—	—	—	—	—	—
所有者との取引額等合計	—	758	△45,696	△3	—	△505	1
2024年6月30日 残高	50,000	2,721	△82,326	556	288,818	—	44,201

(単位：百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分					
	その他の資本の構成要素			親会社の所有者に帰属する持分合計	非支配持分	資本合計
	確定給付制度に係る再測定	その他の資本の構成要素合計	利益剰余金			
2024年4月1日 残高	—	283,998	1,388,842	1,688,173	429	1,688,603
四半期利益	—	—	85,383	85,383	—	85,383
その他の包括利益	△0	50,086	—	50,086	—	50,086
四半期包括利益	△0	50,086	85,383	135,469	—	135,469
自己株式の取得	—	—	—	△45,712	—	△45,712
自己株式の処分	—	△3	—	0	—	0
配当金	—	—	△57,525	△57,525	—	△57,525
株式報酬取引	—	—	—	770	—	770
子会社の支配喪失に伴う変動	—	—	—	—	△429	△429
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替	0	1	△1	—	—	—
非金融資産等への振替	—	△505	—	△505	—	△505
その他の増減	—	—	178	178	—	178
所有者との取引額等合計	0	△507	△57,348	△102,794	△429	△103,223
2024年6月30日 残高	—	333,576	1,416,877	1,720,849	—	1,720,849

(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期利益	52,133	110,198
減価償却費及び償却費	14,169	16,615
減損損失(又は戻入れ)	3	—
金融収益	△8,821	△19,133
金融費用	727	1,974
持分法による投資損益(△は益)	△6	△60
固定資産除売却損益(△は益)	51	△3,249
営業債権及びその他の債権の増減額(△は増加)	△18,628	△66,425
棚卸資産の増減額(△は増加)	△32,598	△761
営業債務及びその他の債務の増減額(△は減少)	△4,513	△45,878
契約負債の増減額(△は減少)	△8,844	△14,652
その他	△36,071	△53,938
小計	△42,399	△75,310
利息及び配当金の受取額	4,158	7,189
利息の支払額	△141	△180
法人所得税の支払額	△7,856	△41,741
営業活動によるキャッシュ・フロー	△46,238	△110,042
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△53,258	△2,611
定期預金の払戻による収入	100,469	285,102
投資の取得による支出	△1,938	△47,582
投資の売却及び償還による収入	122,288	144,611
有形固定資産の取得による支出	△24,542	△21,179
有形固定資産の売却による収入	6	477
無形資産の取得による支出	△1,965	△10,833
子会社の売却による収入	—	5,250
貸付金の回収による収入	70	12
その他	△738	4,052
投資活動によるキャッシュ・フロー	140,392	357,299
財務活動によるキャッシュ・フロー		
社債の償還及び借入金の返済による支出	△99	△99
自己株式の取得による支出	△5	△45,712
配当金の支払額	△28,795	△57,570
リース負債の返済による支出	△3,628	△4,174
その他	0	0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△32,528	△107,557
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	61,625	139,699
現金及び現金同等物の期首残高	441,921	647,180
現金及び現金同等物に係る換算差額	22,428	18,379
現金及び現金同等物の期末残高	525,975	805,259
売却目的で保有する資産への振替額	△6,310	—
現金及び現金同等物の期末残高 (要約四半期連結財政状態計算書計上額)	519,664	805,259

(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更)

当第1四半期連結会計期間において、第一三共エスファ株式会社の発行済株式総数の51%に相当する数の株式の譲渡を完了したため、連結の範囲から除外しております。

(表示方法の変更)

(要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書)

前第1四半期連結累計期間において営業活動によるキャッシュ・フローの「営業債務及びその他の債務の増減額」及び「その他」に含めていた「契約負債の増減額」は、金額的重要性が増したため、当第1四半期連結会計期間から独立掲記しております。

この表示方法の変更を反映させるため、前第1四半期連結累計期間の要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書の組替えを行っております。

この結果、前第1四半期連結累計期間の要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書において、営業活動によるキャッシュ・フローの「営業債務及びその他の債務の増減額」及び「その他」に表示していた金額の一部（それぞれ2,219百万円、6,624百万円）を「契約負債の増減額」として組替えております。

(セグメント情報)

当社グループは、「医薬事業」の単一セグメントであるため、報告セグメント別の記載は省略しております。